

令和2年度(2020年度)

3. 決算報告書

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月 31日

令和2年度（2020年度） 第55期 比較貸借対照表

令和 3年 3月 31日 現在

科 目	当年度（55期）	前年度（54期）	増 減 額	%
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金 預金				
普通 預金	325,714	325,714	0	0.0
流 動 資 産 合 計	325,714	325,714	0	0.0
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
定期 預金	29,172,150	29,172,150	0	0.0
投資 有 価 証 券	40,068,000	38,789,035	1,278,965	3.3
基 本 財 産 合 計	69,240,150	67,961,185	1,278,965	1.9
(2) 特定資産				
奨学事業積立資産	466,098,117	479,617,682	-13,519,565	-2.8
奨学貸付金	13,293,330	22,350,543	-9,057,213	-40.5
貸倒引当金	0	-890,000	890,000	-100.0
特 定 資 産 合 計	479,391,447	501,078,225	-21,686,778	-4.3
固 定 資 産 合 計	548,631,597	569,039,410	-20,407,813	-3.6
資 産 合 計	548,957,311	569,365,124	-20,407,813	-3.6
II 負債の部				
1. 流動負債	0	0	0	
流 動 負 債 合 計	0	0	0	
2. 固定負債	0	0	0	
固 定 負 債 合 計	0	0	0	
負 債 合 計	0	0	0	
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
寄 付 金	548,631,597	569,039,410	-20,407,813	-3.6
指 定 正 味 財 産 合 計	548,631,597	569,039,410	-20,407,813	-3.6
(うち基本財産への充当額)	(69,240,150)	(67,961,185)	(1,278,965)	1.9
(うち特定資産への充当額)	(479,391,447)	(501,078,225)	(-21,686,778)	-4.3
2. 一般正味財産	325,714	325,714	0	0.0
一 般 正 味 財 産 合 計	325,714	325,714	0	0.0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
正 味 財 産 合 計	548,957,311	569,365,124	-20,407,813	-3.6
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	548,957,311	569,365,124	-20,407,813	-3.6

令和2年度（2020年度） 第55期 正味財産増減計算書

自令和2年4月1日 至令和3年3月31日

科 目	当年度(55期)	前年度(54期)	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産 運用益	(1,373,881)	(322,924)	(1,050,957)
基本財産 受取利息	1,373,881	322,924	1,050,957
特定資産等 運用益	(374,420)	(516,888)	(-142,468)
奨学積立資産等 受取利息	374,420	516,888	-142,468
受取寄付金	(19,583,185)	(31,342,547)	-11,759,362
受取寄付金 振替額	19,583,185	31,342,547	-11,759,362
雑 収 益	(5,087,000)	(1,850,351)	(3,236,649)
雑 収 益	5,087,000	1,850,351	3,236,649
経 常 収 益 計	26,418,486	34,032,710	-7,614,224
(2) 経常費用			
事 業 費	(21,240,000)	(22,910,000)	(-1,670,000)
大学院生奨学金給付	10,440,000	10,440,000	0
大学生奨学金給付	9,000,000	10,080,000	-1,080,000
留学生奨学金給付	1,800,000	1,500,000	300,000
奨学貸与金貸倒引当金繰入額	0	890,000	-890,000
管 理 費	(5,178,486)	(11,122,710)	(5,944,224)
報 酬	0	1,614,865	-1,614,865
事務委託費	3,692,722	3,624,159	68,563
交通費	168	1,176,850	-1,176,682
会議費	28,714	2,830,313	-2,801,599
通信費	310,079	130,118	179,961
消耗品費	31,909	180,142	-148,233
支払手数料	121,921	396,888	-274,967
賃借料	211,200	209,280	1,920
顧問料	660,000	654,000	6,000
雑 費	121,773	306,095	-184,322
経常費用計	26,418,486	34,032,710	-7,614,224
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	325,714	325,714	0
一般正味財産期末残高	325,714	325,714	0
II. 指定正味財産増減の部			
1. 投資有価証券評価損益	-9,665,755		
2. 投資有価証券売却益	8,841,127		
3. 一般正味財産への振替額	(-19,583,185)	(-31,342,547)	(-11,759,362)
一般正味財産への振替額	-19,583,185	-31,342,547	11,759,362
当期指定正味財産増減額	-20,407,813	-31,342,547	10,934,734
指定正味財産期首残高	569,039,410	600,381,957	-31,342,547
指定正味財産期末残高	548,631,597	569,039,410	-20,407,813
III. 正味財産期末残高	548,957,311	569,365,124	-20,407,813

令和2年度（2020年度） 第55期 正味財産増減計算書内訳表

自令和2年4月1日 至令和3年3月31日

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消去	合 計
	一般事業			
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産 運用益	(1,373,881)	(0)	(0)	(1,373,881)
基本財産 受取利息	1,373,881			1,373,881
特定資産等 運用益	(374,420)	(0)	(0)	(374,420)
奨学積立資産等 受取利息	374,420			374,420
受取寄付金	(14,404,699)	(5,178,486)	(0)	(19,583,185)
受取寄付金 振替額	14,404,699	5,178,486		19,583,185
雑 収 益	(5,087,000)		(0)	(5,087,000)
雑 収 益	5,087,000			5,087,000
経常収益計	21,240,000	5,178,486	0	26,418,486
(2) 経常費用				
事業 費	(21,240,000)	(0)	(0)	(21,240,000)
大学院生奨学金給付	10,440,000			10,440,000
大学生奨学金給付	9,000,000			9,000,000
奨学生奨学金給付	1,800,000			1,800,000
奨学貸与金貸倒引当金繰入額	0			0
管 理 費	(0)	(5,178,486)	(0)	(5,178,486)
報 酬		0		0
事務委託費		3,692,722		3,692,722
交通費		168		168
会議費		28,714		28,714
通信費		310,079		310,079
消耗品費		31,909		31,909
支払手数料		121,921		121,921
賃借料		211,200		211,200
顧問料		660,000		660,000
雑 費		121,773		121,773
経常費用計	21,240,000	5,178,486	0	26,418,486
当期経常増減額	0	0	0	0
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	325,714		325,714
一般正味財産期末残高	0	325,714	0	325,714
II. 指定正味財産増減の部				
1. 投資有価証券評価損益	-9,665,755			
2. 投資有価証券売却益	8,841,127			
3. 一般正味財産への振替額	(-14,404,699)	(-5,178,486)	(0)	(-19,583,185)
一般正味財産への振替額	-14,404,699	-5,178,486		-19,583,185
当期指定正味財産増減額	-15,229,327	-5,178,486	0	-20,407,813
指定正味財産期首残高	380,155,753	188,883,657		569,039,410
指定正味財産期末残高	364,926,426	183,705,171	0	548,631,597
III. 正味財産期末残高	364,926,426	184,030,885	0	548,957,311

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券は、期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。

(2) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

奨学金貸与の貸倒れによる損失に備えて、当初貸与年月より20年以上経過した貸与先について21年目に貸倒引当金繰入をし、翌期に貸与金の直接減額処理をしております。

ただし当期は該当なし。

(3) 消費税の処理

消費税の会計処理については、免税業者であるので、税込方式としている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

公益目的保有財産であり、運用益を奨学事業の財源として使用している。

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
利付国庫債券 311	38,789,035	0	38,789,035	0
三井住友信託・定期 77	29,172,150	0	0	29,172,150
みずほFG劣後債 24	0	40,068,000	0	40,068,000
合 計	67,961,185	40,068,000	38,789,035	69,240,150

3. 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基本財産)				
利付国庫債券 311	38,789,035	0	38,789,035	0
三井住友信託・定期 77	29,172,150	0	0	29,172,150
みずほFG劣後債 24	0	40,068,000	0	40,068,000
小 計	67,961,185	40,068,000	38,789,035	69,240,150

奨学事業の積立資産である。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(特定資産)				
三井住信・東京 普通預金	2,968,474	40,402,950	43,301,100	70,324
みずほ・銀座 "	14,652,347	609,734,003	594,985,343	29,401,007
振替貯金・東京 "	1,978,531	4,210,580	17,847	6,171,264
みずほ・上野 "	181,063	8,021	550	188,534
三菱東京UFJ・ "	133,174	220,025,999	220,158,430	743
(投資有価証券)				
三菱東京UFG・定期 27	30,000,000		30,000,000	0
" " " 28	30,000,000		30,000,000	0
" " " 29	50,000,000		50,000,000	0
" " " 30	30,000,000		30,000,000	0
" " " 31	10,000,000		10,000,000	0
" " " 32	40,000,000		40,000,000	0
" " " 33	30,000,000		30,000,000	0
小 計 (1)	239,913,589	874,381,553	1,078,463,270	35,831,872

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(投資有価証券)				
みずほ・銀座 # 16	50,000,000		50,000,000	0
" " " 17	30,000,000			30,000,000
みずほ・上野 # 14	30,000,000		30,000,000	0
" " " 15	50,000,000		50,000,000	0
利付国庫債券 328	29,915,593		29,915,593	0
" " 332	49,788,500		49,788,500	0
新光ビムコ		200,000,000	200,000,000	0
みずほ証券EB		210,000,000	10,647,000	199,353,000
				0
野村SMA		200,913,245		200,913,245
				0
小 計 (2)	239,704,093	610,913,245	420,351,093	430,266,245
合 計 (1) + (2)	479,617,682	1,485,294,798	1,498,814,363	466,098,117

4. 担保に供している資産
なし。

5. 保証債務等の偶発債務
なし。

6. 金融商品の時価等に関する事項

①満期保有目的の債券に関する事項

満期保有目的の債券の当期中の売却額は288,636,616円であり、売却益は8,841,127円である。
この売却は、当該債券を満期まで保有し続けることによる不利益を回避するためである。
また、当期末における満期保有目的の債券はない。

②その他有価証券に関する事項

その他有価証券の内訳並びに償却原価、貸借対照表価額及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	償却原価	貸借対照表価額	評価損益
みずほFG劣後債 24	40,000,000	40,068,000	68,000
みずほ証券EB	210,000,000	199,353,000	-10,647,000
野村SMA	200,000,000	200,913,245	913,245
合 計	450,000,000	440,334,245	-9,665,755

7. 関連当事者との取引の内容

属性	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員の兼務等	事業上の関係				
常任理事	(株)モリタ	大阪府吹田市垂水町3-33-18	(百万円) 53,797	歯科器材販売業	1/5	社長	なし	家賃	(千円) 209	賃借料	0

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取寄附金振替額	19,583,185
合 計	19,583,185

9. 重要な後発事象

当期末日以後、翌期以降の財産または損益に重要な影響を及ぼす事象は発生しておりません。

附 属 明 細 書

1. 基本財産および特定資産の内訳

財務諸表の注記2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
貸倒引当金	890,000	0	890,000	0
合 計	890,000	0	890,000	0

3. 奨学貸与金

(単位:円)

期 首	当期増加	当 期 減 少		当期末残高
		回収額	貸倒額	
22,350,543	※ 0	8,167,213	890,000	13,293,330
104名	0 名	返戻奨学生合計 88名 (内、完済者31名)		73名

※ 平成22年度より貸与制度は廃止され、給付事業のみとなっています。

財 産 目 録

令和 3年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金・預金	現金預金 三井住友・銀座支店	325,714
流動資産合計			325,714
(固定資産)			
基本財産	三井住友信託・本店・77 みずほ劣後債 24	公益目的事業の財源として使用。 公益目的事業の財源として使用。	29,172,150 40,068,000
特定資産	奨学事業 積立資産	奨学給付金として育英事業に使用 " "	70,324 29,401,007
	振替貯金	" "	6,171,264
	みずほ・上野支店	" "	188,534
	三菱東京UFG・上野中央支店	" "	743
	みずほ銀行・銀座支店 17	" "	30,000,000
	みずほ証券 EB	" "	199,353,000
	野村SMA	" "	200,913,245
	奨学貸与金 貸倒引当金	奨学生73名に貸与 貸与金回収不能引当金	13,293,330 0
固定資産合計			548,631,597
資産合計			548,957,311
(流動負債)			0
流動負債合計			0
(固定負債)			0
固定負債合計			0
負債合計			0
正味財産合計			548,957,311

監査報告書

公益財団法人 森田奨学育英会
理事長 川添 堯彬 殿

令和 3年 5月 7日
公益財団法人 森田奨学育英会
監事 石井 拓男 印

公益財団法人 森田奨学育英会
監事 森 炎 印

私たちは、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの第55期会計年度における会計監査を行い、会計帳簿および計算書類等につき検討を加えました結果、次のとおり報告します。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、財務諸表並びに収支計算書の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書は、会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認めます。
- (2) 事業報告書は、定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な過失は認められません。